

(S2019-33 用)

研究課題名	脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握
研究期間	西暦 2019年 11月 より 西暦 2021年 3月 までの間 (予定)
研究の目的と意義	<p>脳卒中は本邦における要介護原因疾患の首位、死因の第 4 位であり、依然として重点的 な対策が必要な疾患です。しかしながら、本邦における脳卒中の診療実態の把握は不十分であり、特に診療の質や患者の機能予後に関しては不明な点が多い。諸外国では、脳卒中患者の疾患レジストリを作成し、診療実態や予後の把握を行い、脳卒中のモニタリングが行われています。本邦でも 1999 年開始の脳卒中急性期患者登録研究 (Japan Standard Stroke Registry Study: JSSRS) を前身とし、2002 年より脳卒中データベースが立ち上がり、211 施設が参加し 12 万件以上のデータが蓄積されています。しかしながら、本邦全体の脳卒中の診療実態を把握するには不十分であり、より登録が容易なシステムを開発し悉皆性を高めていく必要があります。</p> <p>そこで、我が国における脳卒中の診療実態の把握をするために、脳卒中の疾患レジストリを構築するために計画されました。</p>
研究方法	入院治療した発症から (一過性脳虚血発作の場合は最後の発作から) 7 日以内の脳卒中 (脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、くも膜下出血) 患者さんを対象とします。カルテから、脳卒中の病型や治療、予後などの情報を登録します。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません (公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。
問合せ先	<p>【研究責任者】 京都第二赤十字病院 神経内科 部長 永金 義成 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代) 受付時間 : 月～金、9～17 時 (但し、土日、休祭日を除く)</p>